

## 件 名

---

彩の国かがやき教師塾について

## 提出理由

---

彩の国かがやき教師塾について、別紙のとおり報告します。

## 概 要

---

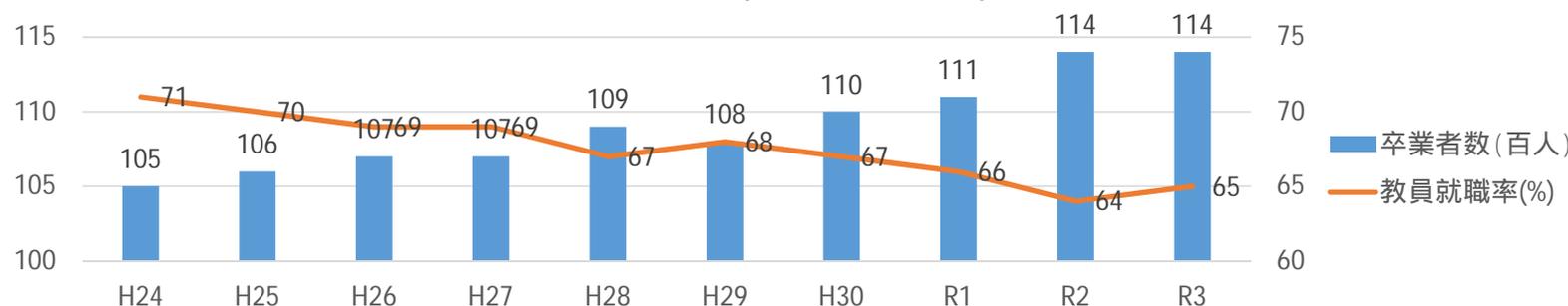
- 1 本県の教員採用に係る課題と解決の方向性
- 2 新規事業「彩の国かがやき教師塾」について
- 3 「彩の国かがやき教師塾」ベーシックコースについて
- 4 「彩の国かがやき教師塾」ベーシックコースの実施状況（例）
- 5 「彩の国かがやき教師塾」マスターコースについて

# 1 本県の教員採用に係る課題と解決の方向性

## 教員採用に係る現状

○教員に就職する学生の減少 「国立の教員養成大学・学部及び国私立の教職大学院の令和2年3月卒業生及び修了者の就職状況等について(文部科学省)」より

国立の教員養成大学・学部(教員養成課程) の教員就職状況



国立教員養成大学・学部は、安定的に質の高い教員を一定数養成する観点から、現在は44大学44学部(うち教員養成単科11大学)が設置されている。

教員就職率の母数については、卒業者数から大学院等への進学者と保育士への就職者を除いている。

○埼玉県教員採用選考試験倍率の低下(志願者の減少)

【直近5年間の志願者比較(埼玉県)](人)

	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	2,381	2,119	1,990	1,806	1,632
中学校	2,253	2,103	2,056	1,992	1,900

【直近5年間の受験倍率比較(埼玉県)](倍)

	H30	R1	R2	R3	R4
小学校	3.1	2.6	2.5	2.1	1.8
中学校	6.2	5.3	4.2	3.8	3.7

「令和4年度勤務状況(6月期)調査結果(埼玉県)」より

## 本県の教員採用に係る課題

- 教員志願者の確保
- 優れた教員の確保

## 課題解決の方向性

- 教育学部生の進路選択の段階で教員を志望する人数を増やす
- 採用試験倍率に左右されない教員志願者の質の向上

## 2 新規事業「彩の国かがやき教師塾」について

### 目的

優れた教員の確保のため、教員という職業の魅力を大学生に伝え、埼玉教育の未来を担う教員として活躍する人材を県教育委員会と大学とで連携して育成する。

(1) ベーシックコース(大学2年生対象)  
(令和4年7月開講)

受講者数: 小学校・中学校合わせて185名

(2) マスターコース(大学3年生対象)  
(令和5年1月開講)

対象: 小学校 60名 中学校 20名

### 教員志願者の確保

大学生の早い段階から学校現場で体験ができ、教員という職業の魅力を実感できる

### 優れた教員の確保

教員として必要となる資質を培うため、専門的・実践的に学ぶことができる

	埼玉教員養成セミナー	彩の国かがやき教師塾
目的	将来、埼玉の教育を担う教員として活躍できるための資質・能力を育成する。	優れた教員の確保のため、教員という職業の魅力を大学生に伝え、埼玉教育の未来を担う教員として活躍する人材を県教育委員会と大学とで連携して育成する。
対象	埼玉県公立小学校教員を志望する 大学3年生50名程度	ベーシックコース 埼玉県公立小・中学校を志望する 大学2年生185名(小・中学校合計) マスターコース 埼玉県公立小・中学校を志望する 大学3年生等80名(小学校60名・中学校20名)
実施期間	大学3年次の1月～大学4年次の9月	ベーシックコース 大学2年次の7月～大学3年次の10月 マスターコース 大学3年次の1月～大学4年次の1月
実施日数 (実施時間)	・学校体験実習 43日間(教育実習含む) ・講演、講義・演習 13日間 ・体験活動 3日間程度	ベーシックコース 学校体験ボランティア 60時間以上(80時間を限度) マスターコース ・学校体験実習 52日間(教育実習含む) ・講演、講義・演習 7日間 ・体験活動 3日間程度
連携大学数	24大学	34大学
実績等	・第1期生から第15期生まで941名を教員として輩出 ・現在、多くの者が、学校の中核(教務主任、生徒指導主任、体育主任、学年主任等)として活躍	ベーシックコース 185名受講中 マスターコース 80名令和5年1月開講

## 3 「彩の国かがやき教師塾」ベーシックコースについて

### 1 目的

埼玉県の教員を志望する大学生を広く集め、学校現場において体験的に学ぶ中で、教員という職業の魅力を伝える。

### 2 受講者数

小学校・中学校  
**あわせて185名**

### 3 実施期間

令和4年7月～令和5年10月

### 4 体験内容

**【学校におけるボランティア体験】 60時間以上（80時間を上限とする）**

- ア 学習指導の補助【例】授業中の個別支援、教材の確認 など
- イ 学級担任の補助【例】給食指導、清掃指導の補助、学級事務の補助 など
- ウ 学校行事の補助【例】行事における児童生徒の支援 など
- エ その他校長が指定するもの

## 4 「彩の国かがやき教師塾」ベーシックコースの実施状況（例）



- 1 **ベーシックコース受講生**  
県内在住 大学2年生
- 2 **体験実施校及び配置学年**  
川口市立桜町小学校（第2学年）
- 3 **学校におけるボランティア体験内容**
  - ・ 体育授業補助
  - ・ 算数授業補助
  - ・ 休み時間の子供たちとの交流

### 【ベーシックコース受講生の感想】

- ・ 将来、教師となった自分の姿を具体的にイメージできるようになりました。また、大学の講義では学ぶことができなかった授業以外の部分も体験できることがうれしいです。

### 【小学校長の意見】

- ・ 長期間でボランティアを体験することで児童生徒が伸びる姿を見ることができると思います。
- ・ 私自身（校長）が若い時に育ててもらった恩を次の世代（学生）に送りたい。

## 5 「彩の国かがやき教師塾」マスターコースについて

### 1 目的

学校現場において実践的に学ぶ中で、将来的に学校の中核として活躍できる教員に必要な資質を培う。

### 2 募集対象

80名（小学校60名・**中学校20名**）

### 3 実施期間

令和5年1月～令和6年1月

### 4 内容

#### ア 学校体験実習

県内小・中学校において、学級運営の実際や授業実践等を学ぶ

#### イ 講演・講義・演習

幅広い視野と教職に必要な専門性を身に付ける

#### ウ 体験活動

体験活動等を通して、豊かな人間性や社会性を醸成する

# ア 学校体験実習

## 1 目的

小・中学校教員の一日の仕事を1年に渡って実習し、子供と積極的にかかわり、学級運営や授業実践を通して、実践的な指導力を学び、より深い教育の意義等を学ぶ。

## 2 実習場所 県教育委員会が指定した埼玉県内市町村立小・中学校

## 3 内容

< 1月～3月 >

・学校や子供の様子を知る。・授業参観や学校行事を体験する。

< 4月～5月 >

・学級開き、学年始まりの学級経営を体験する。・授業に挑戦する。

< 5月～7月 >

・学級経営、学習指導、生徒指導など、教員の仕事を実践する。（教育実習）

< 9月 >

・学級運営に積極的にかかわる。・楽しく魅力的な授業に挑戦する。

< 11月～1月 >

・児童・生徒理解を深め、授業力を磨く。・教職の魅力と責任を再認識する。

# イ 講演、講義・演習

## 1 目的

各教科・領域等における専門家による講演や講義・演習を行い、マスターコース受講生同士が協働の中で、深く考え、学びを通して、教員としての資質の向上、指導理念や指導方法・技術の習得を図り、幅広い視野と専門性を身に付ける。

## 2 研修場所 埼玉県立総合教育センター等

## 3 内容

### < 講演 >

「埼玉県の教職員に期待すること」「学級経営の充実に向けて」 など

### < 講義・演習 >

「学力・学習状況調査結果を踏まえた授業づくり」

「子供の間人関係を深める学級づくり」

「道徳教育と『特別の教科 道徳』の役割」

「児童・生徒理解と効果的な生徒指導」

「学校教育における人権について」 など 日曜日を中心に7日間程度実施

# ウ 体験活動

## 1 目的

教員として役立つ体験活動等をボランティアとして行い、豊かな人間性や社会性を醸成する。

## 2 研修場所

県立の社会教育施設（げんきプラザ）

## 3 内容

- ・ 子供キャンプ等での体験学習のサポート
- ・ 子供キャンプ等での宿泊学習のサポート

長期休業等を利用して、3日間程度実施する。